## Chapter 1

キーボードのAが押されたらプレイヤーの移動速度を倍にしてみよう。

まず、キーボードのAが押されたということを記録できるようにする必要があります。 Packman のプロジェクトでキーボードの入力を記録しているプログラムは下記の二のファイルです。

ソースファイル

.\{\text{Y}Packman}\{\text{tk}Engine}\{\text{Input}\{\text{tk}Input}\}\{\text{tk}KeyInput}.h

ではヘッダーファイルを下記のように編集してください。太字になっている部分が変更点です。

```
/*!
 * @brief
                キー入力。
#ifndef _TKKEYINPUT_H_
#define _TKKEYINPUT_H_
namespace tkEngine{
    class CKeyInput{
                enum EnKey
                         enKeyUp,
                         enKeyDown,
                         enKeyRight,
                         enKeyLeft,
                         enKeyA,
                         enKeyNum,
        public:
                 * @brief
                                 コンストラクタ。
                CKeyInput();
                /*!
                 * @brief
                                 デストラクタ。
                 ~CKeyInput();
                 * @brief
                                 キー情報の更新。
                void Update();
                 * @brief
                                 上キーが押されている。
                bool IsUpPress() const
                         return m_keyPressFlag[enKeyUp];
                 * @brief
                                 右キーが押されている。
                bool IsRightPress() const
                         return m_keyPressFlag[enKeyRight];
```

```
* @brief
                             左キーが押されている。
              bool IsLeftPress() const
                      return m_keyPressFlag[enKeyLeft];
               * @brief
                             下キーが押されている。
              bool IsDownPress() const
                      return m_keyPressFlag[enKeyDown];
              *@brief
                             キーボードの A が押された。
              bool IsAPress() const
                      return m_keyPressFlag[enKeyA];
       private
                      m_keyPressFlag[enKeyNum];
              bool
       };
#endif //_TKKEYINPUT_H_
```

続いてソースファイルを下記のように変更します。

```
キー入力
  @brief
#include "tkEngine/tkEnginePreCompile.h" #include "tkEngine/Input/tkKeyInput.h"
\begin{array}{c} name space \ tkEngine \{\\ /*! \end{array}
         \dot{*} @brief
                         コンストラクタ。
        CKeyInput::CKeyInput()
                 memset(m_keyPressFlag, 0, sizeof(m_keyPressFlag));
         * @brief
                         デストラクタ。
        CKeyInput::~CKeyInput()
         * @brief
                         キー情報の更新。
        yoid CKeyInput∷Update()
                 if (GetAsyncKeyState(VK_UP) & 0x8000) {
                         m_keyPressFlag[enKeyUp] = true;
                 else {
                         m_keyPressFlag[enKeyUp] = false;
```

これでキーボードのAが入力されると、 $m_{key}$ PressFlag[enKeyA]に true という値が記録されるようになりました。

では本当にキーボードの A が入力されたら true が設定されるか確認してみましょう。 先ほどの書き換えた部分にコードを下記の黒字のコードを追加してみて下さい。

```
if ((GetAsyncKeyState('A') & 0x8000)
| (GetAsyncKeyState('a') & 0x8000) ) {
| m_keyPressFlag[enKeyA] = true;
| MessageBox(NULL, "A ボタンが押されたよ!", "成功", MB_OK);
| selse {
| m_keyPressFlag[enKeyA] = false;
| }
```

A を押したらダイアログボックスがでましたか?

では、確認ができたらメッセージボックスを表示するコードは削除してください。

では、正しくキーボードから入力を受け取ることができることが確認できたのでプレイヤーの移動速度を倍にしてみましょう。プレイヤーの移動処理は下記のファイルに記述されています。

ソースファイル

Packman\Packman\game\Player\CPlayer.cpp

CPlayer.cpp を下記のように書き換えてみて下さい。

```
/*!
* @brief プレイヤー
*/
#include "stdafx.h"
#include "Packman/game/Player/CPlayer.h"
```

```
#include "Packman/game/CGameManager.h
/*!
 *@brief
                       Update が初めて呼ばれる直前に一度だけ呼ばれる処理。
voʻid CPlayer∷Start()
★@brief Update 関数が実行される前に呼ばれる更新関数。
yoid CPlayer∷PreUpdate()
            Move();
/*I
´*@brief
度呼ばる。
                       更新処理。60fps なら 16 ミリ秒に一度。30fps なら 32 ミリ秒に一
voʻid CPlayer∷Update()
           m_sphere.SetPosition(m_position);
m_sphere.UpdateWorldMatrix();
CGameManager& gm = CGameManager::GetInstance();
CMatrix mMVP = gm.GetGameCamera().GetViewProjectionMatrix();
const CMatrix& mWorld = m_sphere.GetWorldMatrix();
m_wvpMatrix.Mul(mWorld, mMVP);
m_idMapModel.SetWVPMatrix(m_wvpMatrix);
IDMap().Entry(&m_idMapModel);
m_shadowModel.SetWorldMatrix(mWorld);
ShadowMap().Entry(&m_shadowModel);
}
/*!
*@brief 移動処理。
void CPlayer∷Move()
            if (KeyInput().IsUpPress()) {
          m_position.z += moveSpeed;
                (KeyInput(). IsDownPress()) {
    m_position.z -= moveSpeed;
                (KeyInput(). IsRightPress()) {
    m_position. x += moveSpeed;
                (KeyInput(). IsLeftPress()) {
    m_position. x -= moveSpeed;
*@brief
度呼ばれる。
                       描画処理。60fps なら 16 ミリ秒に一度。30fps なら 32 ミリ秒に一
void CPlayer::Render(tkEngine::CRenderContext& renderContext)
           CGameManager& gm = CGameManager∷GetInstance(); m_sphere.RenderLightWVP(
                       renderContext,
                       m_wvpMatrix,
gm. GetFoodLight(),
                        false,
                       true
           );
 /*I
 *@brief
                       構築。
```

```
*必ず先に CreateShape を一度コールしておく必要がある。
*/
void CPlayer::Build( const CVector3& pos )
{
    m_sphere. Create(0.08f, 10, 0xffff0000, true );
    m_idMapModel. Create(m_sphere. GetPrimitive());
    m_shadowModel. Create(m_sphere. GetPrimitive());
    m_position = pos;
}
```

## Chapter 2 ジャンプできるようにしてみよう。

Chapter1 のプログラムを改造して、キーボードの A が入力されたらプレイヤーがジャンプ するようにしてみましょう。今回編集するプログラムは下記のファイルになります。

ソースファイル

Packman\Packman\game\Player\CPlayer.cpp

ヘッダーファイル

Packman\Packman\game\Player\CPlayer.h

## CPlayer.h を下記のように編集してください。

```
* @brief プレイヤー
#ifndef_CPLAYER_H_
#define CPLAYER_H_
#include "tkEngine/shape/tkSphereShape.h"
class CPlayer: public tkEngine::IGameObject{
public:
 CPlayer():
        m_position(CVector3::Zero)
  ~CPlayer(){}
  *@brief
                Update が初めて呼ばれる直前に一度だけ呼ばれる処理。
  void Start() override final;
  *@brief Update 関数が実行される前に呼ばれる更新関数。
 void PreUpdate() override final;
                更新処理。60fps なら 16 ミリ秒に一度。30fps なら 32 ミリ秒に一度呼ばれる。
  *@brief
  void Update() override final;
  *@brief
                描画処理。60fps なら 16 ミリ秒に一度。30fps なら 32 ミリ秒に一度呼ばれる。
  void Render(tkEngine::CRenderContext& renderContext) override final;
  *必ず先に CreateShape を一度コールしておく必要がある。
 void Build(const CVector3& pos);
  *@brief 移動処理。
```

```
void Move();
  *@brief 座標を取得。
 const CVector3& GetPosition() const
     return m_position;
private:
 tkEngine::CSphereShape
                        m_sphere;
                                         //<ワールドビュープロジェクション行列。
  CMatrix
                        m wvpMatrix;
 tkEngine::CIDMapModel
                        m_idMapModel;
  CVector3
                        m_position;
  tkEngine::CShadowModel m_shadowModel;
                                         //!<シャドウマップへの書き込み用のモデル。
                        m_moveSpeed;
                                         //!<移動速度。
  CVector3
#endif
```

プレイヤーに m\_moveSpeed という移動速度を覚えるためのメンバ変数が追加されました。

では、続いて tkPlayer.cpp の Move 関数を下記のように編集してください。

これでプレイヤーは A を押すとジャンプするようになりました。ただし地面と衝突判定などは行っていないため、このプレイヤーは A を押さないと奈落の底に落下していきます。 次の Chapter ではプレイヤーが落下しないようにプログラムを変更してみます。

## **Tips**

```
void CPlayer∷Move()
        //XZ平面での移動速度。
                 //ジャンプ。
//初速度を2m/sで与える。
m_moveSpeed.y = 2.0f;
        CVector3 add (0.0f, 0.0f, 0.0f);
        if (KeyInput().IsDownPress()) {
                 m_position.z -= add.z;
         if (KeyInput().IsRightPress()) {
    m_position.x += add.x;
         if (KeyInput().IsLeftPress()) {
                 m_position. x -= add. x;
        m_position.y += add.y;

/速度に重力加速度の影響を与える。

重力加速度 9.8m/s^2

static const CVector3 gravity(0.0f, -9.8f, 0.0f);

CVector3 addVelocity = gravity;

addVelocity.Scale(deltaTime);

m_moveSpeed.y += addVelocity.y;
変更を加えたプログラムを下記のパスに上げました。Debug モードで実行すると処理が
遅いのでもっさりした挙動になるので、Release で確認するといいでしょう。
(影も壁に落ちるように改良してます・・・)
¥¥mmnas01¥student¥GC2016¥02_授業¥ゲームPG I ¥Lesson02¥Packman_JumpGravity
```